SEE SPEC. PAGE ONE

⑩日本国特託庁(JP)

创存託出班公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A)

平2-87751

®Int. Cl. 3

認別記号

厅内交通部号

四公開 平成2年(1990)3月28日

H 04 M 1/274

6914-5K

発養語求 未語求 語求項の数 1 (全6頁)

69発明の名称 通信装置

> 创特 羅 昭83 239008

顧 昭63(1988) 9月26日 多出

砂発 明 容 亘 史 の元 明 杉浦 登 -₽B 分列 明 Ħ 逆 苹 沯 ய 93 山口 EU 心矣 旁 (内名 벙 环 洿 行 小 金砂 玥 2 安 田 雅 砂出 班 人 ヤヤノン株式会社

東京都人田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京部大田区下丸子3丁日30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京部大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子5丁目30至2号

弁理士 加 蘖

1. 宠明の名称

30代型人

通信基础

2 . 19 15 海ボの英国

1) 相求局の選択罪马を思慮する思慮手段を有 し南部原作単数に発せされた温度させる用いて用 **非局を必申する治療を置において、面記記行手ひ** に、初半局の選択がちを記憶する折しの危性領域 と、この再上の記憶領域に各納された特定の遺状 むりに関連した選択 毎号を記述する事での記述領 ぬを取り、所定の数作に記じて同記352の記憶領 はに特勢されている前記分1の記憶領度に指摘さ れた特定の選択番号に関連した選択番号を知めし て森畔に用いることを称葉とする遺伝装置。

3. 是明の詳細な疑例

[点書上の利用分野]

次典明计通信智慧、特に指手局の選択者号を記 但十五記線并改を有し前記記述手段に記録された。 選択番号を用いて相手品を高洋する領の装置に凹 するちのである.

(使不の故治!

使求より、上述のように半端値メモリなどに仮 予司の電話回ち、アグタル回避における加入電車 今々との選択番りで思想し、短短グイナル操作や センタッチャーの決体に応じてノモリに超過され た選択器与を取り出して発痒に用いる電路機や フェクシミリ染液との他の各種の通信架置が知ら れている。また、武沢帝号の記録に難しては、直 前の急呼に用いられた電話番号を記憶し、これを 所足操作に応じて建み市して発呼に用いる。 いカ ゆるリダイヤル波浪が切られている。

【角明が無決しよっとする経路】

上年のいわゆるリナイヤル彼侭では、リブイヤ ルキーを押下することによって低雨の元呼に用い られた原足のメモリ領域にパッファされた選択事 **ラデータも取り出して見呼に用いる。 定来では、** 近前の元平における遺訳市与も記述する領域は1 つのみで、この領域は発呼が行せわれることにあ しい連切番号データによって出る数えられる。

このため、リグイナル単作では常に展前の1層

持閒平2-87751(2)

双の選択の受力のかければ用することができなかった。 乗早した祖手局が話し中の場合にはこのようにはリグイイル 母尾でも充分科点があるが、何えば電話達の場合、 遺話を目的とする人物が目を、立社、あるいは会社内での種類に関系をかけている。 かっぱん いんしゅう という にほの のんしん かっぱん という にほん かいという 間囲があった。

本意明の理図は以上の周辺を無料し、ダイヤリングあるいはリダイヤル供用の際に関刊した意思 香号を自動的に握し出して発呼を行なえる通信差 型を提供することである。

【迂辺を継びするための手段】

以上の遊園を解決するために、本発明においては相手局の選択者与を記憶する記憶手段を有し前足記憶手段に登場された選択番号を用いて相手局を発達された遺訳番号を用いて相手局の選択番号を記憶する第1の記憶領域と、この第1の記憶領域にお納された特定の選択番号

に四型した選択者サを坐地する332の記憶領域を設け、所定の機体に応じて利配部2の必也国域に移納されている前記第1の記憶領域に移納された特定の遺伝の号に関連した遺伝がありを抽出して鬼呼に用いる構成を採用した。

(押用)

以上の特殊によれば、ある選択者がに関連した 選択者号を原定機作に応じて関決権出して用いる ことができる。

[空溢例]

型下、図団に示す実施例に正づる。 水角明を芽 銀に返明する。

第1回は本美明を採用した遺信要型の一例として、今後個型監察の構成を示している。

第1回において寄り11は電話機太多で、通話用のハンドセット(这更話書)1で、および千角 毎年川のテンキ 13が取けられている。テンキー13の一部にはリダイヤルを存定するための リダイヤルエー13をが取けられている。

建品技士は11の資作面には、さらじ、毎定の

· 村千局の金話番号をメモリに記憶し、その電話番

利于間のを認むなできませりに必要し、その心が中でもお足するための ランタッチキー、回域技技の 後間、知道あるいは ハンズフリー 通話など公知の む他の強語機能を関係するためのファンクション キー15 が悪いられている。

また、第1回では、ファンクションキー15の 手前側に、リダイヤルの級直向に使用した電話を 号のみならず、この電話をうに関連して急速した 電話番号を用いるためのリダイヤルまクェトキー 14がおけられている。また、機体の上には珍可 表示、登録電話番号の要示、鬼味中に用いられて いる電話番号の要示などに用いられる確晶変形を などによる資示器15を設けられている。

以上の構成において、テンキー13は公知のリグイヤルキーと同様に、これを伊トするとその資 商に紹呼に用いた電話できがリグイヤルのための バッファメセリから取り出されて発呼に用いられる。

一方、リグイヤルダクストセールをは頂前の見 呼に用いた電話番号に製造しておらかじめ高速さ れた運動者がを用いて允许を支行させるために用いられる。

- 男工図に弱1図の近話をの制御系の構造を示す。

アで図とわいて行う1は電話回りで、電話回路 2に見ぬされている。電話回路では公知の電話は におけるものと同様のもので、回過期得用のNC ロクュ、ダイヤリング回路クトを少なくとも 在 し、エたハンドセット12トボ禁回過1を退録するためのスピーチネットワーク回路、呼過音の動動回路などを含む。

電話回路をの動作はマイクロブロセックなどから返るじょりもによって利润される。C P U 4 の の 後述の初間プログラムはR O M 8 にお納され、この 別様ノログラムに応じてこまりもはR A M 7 を こつ アーフェリアとして 安立士命の動作を別知する。C P U 4 と世話同俗で、R O M 8、R A M 7 むよい 第1 図のを 神モーの入力を 初切する ための ナー 入力回路 5 は、アドレス および データ パス など から は スカ回路 5 は、アドレス および データ パス など ふ の は システムバス 8 じ ア・て に ほぼり ている .

v

特丽平2-87751(3)

モー入刀回路5は312回のテンキー13、ファンクションモー13の人刀の低、四木のリグイヤルモー13a、リグイマルネクストキー14の入刀も前番16。

また、RAMでは電話番号を記憶する電話番号メモリフェを有している。また、リダイヤル処理のためもの収力に使用された電話番号を返憶する リダイヤルバッファフトも有している。おり回じ電話番号メモリフェ、リダイヤルバッファフトの 記憶器号メモリフェ、リダイヤルバッファフトの 記憶器音を示す。

第3回のように電話番号メモリ7aは7ンタッチキー操作あるいは質問ダイヤルキー操作によって形定される電話番号al、a2…およびその関連可話を与を配型する国連又を育している。ここで電話番号・al、n2…は後食所の電話符号であり、たれぞれた団アドレスェの、x1…のち持約されている。

変換では先頭フドレス×0、×1…からかまる 領域には電話までのみが協調されるが、本実施例 では電話ませれし、n2…のそのぞの数(及びは 位アドレス側)に立路をサal. al…にそれぞれ脚低した直路をサal…l、al…と…が格明

到底米において電話番号の1、の2 …、およびそれでれに開送した製造電話番号の1-1. の1 0…とので-1、の2 - で…はそれぞれの1 の1 のパイトをを有する領域(アドレス [A 0] + 2 の f a l … : [] はポインタの内容を示す)に強硬して基準される。

たとえば、電話番号の1とその間囲書やの11ー1、の11ー2は、公均の短額を一、フンタッチ キーに電影響のを預り付ける入力通程により、選 送して人力され、別選及内のアドレスAから順に が納される。認道電話できの経動制度との数位 の電話できの間にはデータの証切りを示するが存 のでれる。なり、電話番号の登録返復に対する。 モニタとして交換を測して行なられるもの とする。そのは、在本の電話番号と問題で は下記の機能によれるものとする。

ここで、 【AO】は、塩塩×を指しボTじどし
4のインデャクスレシスタの内容をポしており、
【AO】に 収益番 写 n 1 のアドレスAをセット f
れば、 せれにパイト及し I s し 世加えたアドレス
【AO】 + m・o f s し でアクセスすることにより 電話番号 a 1 の間は 電話番号 a 1 - 1 。 a 1 ・
2 … を送み出すことができる。 かお、関連番号が 倒ち尽動されていない場合には、電話ある a 1 ・
a 2 の 変後に 0 が 型値される。 また、 上型 介 電話 番号データは、 その 1 桁の番号をASCIIコードなどにより 変現したものである。

一万、リダイヤルバッファ7トは直面の気味に用いられた 正話 あちをしば 20 のの名 前す ぐらの c. 好 3 図では で話 3 ちょしが 文明の 電話 4 ちょして 特納 されている。 役って、 リグイ ャルナー 1 3 よが 伊下された 場合は 3 ヒリダイ トルバッファ 7 内の 電話 5 ちを取り出してダイヤリング 回答 2 トに入力 ナる。

リダイヤルシのストキー14が押下された場合

次に、以上の構成における動作についてお4回のプローチャート間を各限して詳細に設明する。 邓4回の手間はCPU4のプログラムとしてRO Mはに毎囲きれる。

野4回のステップをltは変数ldスなりにリセットする。この変数ldxは、何番目の時更定語の写象になる。

スティブをこては4 入力内部をからの4 入力を受け付ける。ステップを3、を4においては リガイヤルキー13をないしりダイヤルネクスト キー14の押下を適付する。ステップを3、84 エリガイヤルキー13は、リザイヤルネクスト •

特閒平2-87751(4)

キー14の押下がいてれる0足された場合にはス アップン13におけて0.

ステップ 3 1 3 ではリダイヤルキー1 3 a、リダイヤルようストギー1 4 以外のチャ、よのロランキー1 5 が押下されているので、テンキー1 3 の押下に応じた電話番号手動入力による及中型度、ないしアナンクションキー1 5 の押下に基づく電話番号のワンタッチ入力、同級の集留その他の介知の処理を行なる。

ステップS3でリグイヤルキー138の押下が 脅定された場合にはステップS12において、リ ダイヤルバッファ7トに存納された底前に用いた 運話番号データをダイヤリンク回路23に入力 し、従来独リのリダイマルを存なう。

「ステップコトでリダイヤルネクストトー16が 押下された場合にはステップS5に移行し、変虫 i 4%がりかどうかを聞べる。

ステップSSが介定された場合にほステップS Bにおいてリダイナルパッファフト内の電話番号 もある図の前近太内で表示し、その花記を与が研 出るに登録されていれば、その花記を与のアドレ ムスセインデックムレジュラにセットする。

まだ、領域なにリダイマルパッノッで 3 内の 電話 寄りが得納されていない 場合にはステップ 3 1 2 の 温 かのリダイヤル 為理を行な 2 。 ステップ 5 7 が 否定 された 場合、 みるいはステップ 6 5 が 否定 された 場合には ステップ 5 8 に 分いて 変 改 i d x の 値を 1 だけ 増加 ませる 、これ 仕 定 活 番 号、 あるい は その 皮 向 に 使用 された 間 理 深 番 号 に 理 送し て 格 初 された 関 連 電話 番 号 を ア ク セ ス ナ るたの で ある。

ステップ 5 9 では変数 1 d x の値にある図のパイトを 0 f 3 t を掛け、その新火をインテックスレンスクの内容に加工し、そのアドレスの関連で話の号を取り出す。例述で話の号の終わりをホー「0」が以み出された場合にはステップ 3 1 0 に、また関連番号がはみ出せた場合にはステップ 5 1 1 には行する。

スタップストトではなり出した関連電話番号を

タイヤリング四島でもに入力し、その日生電話を ラを行つ相手局を角がする。角がの際、用いる電 話の号は使求と同様に変求は1のに変求するとよ い。ステップは11が終了したろ、ステップは1 に戻り次のま 入力を受け付ける。

以上の足神により、相手局の電話番号の間でせる あるでは、ある電話番号がある事務所の おのであると ナルば、 月的の相手の日本、 その他 の関連 世話番号) シリダイヤルネクスト キーー 4 の 押下により 次々に 取り出して発呼を行なったとができる。 従って、 相手がある局にいなく ても、 四 頃 な ダイヤル 没作 を 繰り返すこと なく、 また その 危中 母母 で 使 作 き スによる 表発呼 を 行なうこと が てきる。

型上の実施的では、電話番号、その間型電話番号、電話番号、その関連電話番号…のようにシーケンシャルなくをり割当を行なっている。追溯、このようを構成では関連電話を3の数を制度し、その英國内で問題電話番号を登録するように制御

を行なっか、メモリ効率の点で同型があり、また、から所定会以上の電話符号を登録できない。この点になり、電話音号とどもに相続したポインタデータにより認識を記載等等でアクセスする。 ひるいは 本語 あらかよび 間違 電話 海 号を 密 替化せ デ・1 つの 電話 悪 号データから 値の 電話 再 写 デルタを ポインタ 装 脱により アクナス するか どの 外 よ の る お の データ 如 厚 方 よ を 用 い る よ ら データ 如 厚 方 よ を 用 い る よ ら に し て い 、

また、以上の支援例では、返前に用いた電話が サからその関連電路をラをサーチでも異を示した か、フンタッチチーを用いて電磁器サを設定し、 その電話器サの関連番号を認みのして用いるよう にしてもよい。これにより変更内にを殺された返 結番号をブークマース的な過程により有効利用で まるようになる。

以上では、電話機の実現例を示したが、門様の 構成はファクシミリ生産、データ構実をど発生の 領の装みに産用でき、その場合、上記電話はそは

特開平2-87751(5)

デジタル回域の加入よの5年と4年の形式の選択 香号であってよい。

[景明の知果]

以上から切らかなように、木足明によれば、組 キ 向の遺状 音号 と思想する思想手段を得し前差器 並手段に思想された選択番号を用いて祖尹局を沿 ザナる盗会装置とおいて、前草記録于及に、哲子 局の遺民委員を記憶する馬1の危機質はと、この ぶしの記憶組織に活動された特定の選択者与に問 近した選択者やも記憶する様々の思視の単名が 计,所定的操作に応じて前記あるの記憶質点に基 納されている前空部1の空間循環に移動された特 定の選択番号に関連した選択者与を抽出して発呼 に用いる構成を提用しているので、ある遺状毒サ に関連した遺沢番号。たとえばある遺伝句中の立 5回り北である会社、その子は五、日七などの選 祝命守老明明生世界七必要とせず、よに、武元等 なく意実に連結して発子できるという使れた効果 4 4 4 .

4 . 図面の簡単な説明

第1回は本名明を採用したで結婚の外風をボナ 連角面、第2回は第1回の発置の制御系のプロッ ク四、第3回は第2回のであるサイモリの構造を 示した設明内、所4回は第2回のでよりの問題を 離を示すフローチェート回である。

1... 電送回線 2... 電送网

4 ... C P U

7 --- R A M

1.1… 武器独木体 1.2…ハンドセット

13…テンキー

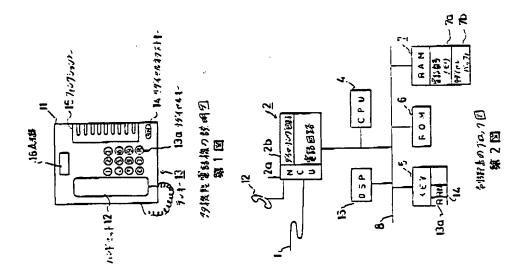
14…リダイヤルスクストギー

13ーファンクションギー

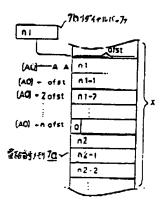
16…表示器

特許由國人 キャイン株式会社 代理人 弁理士 如 雌 **





持閉平2-87751(6)



電路看到21/07於明团 第3回

